レーザー学会年次大会　第1回現地実行委員会　議事録（案）

日時　2022年6月3日17時から19時

場所　ウインクあいち（開催会場）12階1207号室

出席（敬称略）

現地：西澤　典彦，小野　篤史，川嶋　利幸，山本　和久，大澤　哲夫，杉田　篤史，藤　貴夫，工藤　哲弘，藤田　和久，北島　将太朗，上原　日和，安原　亮，竹家　啓，小野　晋吾，本田 光裕，宮川 鈴衣奈，中山　和也，佐伯　壮一，白木　英二，長谷川　和男，村手 宏輔，関根　尊史，レーザー学会事務局

オンライン：川田　善正，的場　修，居波　渉，村田　博司，加藤　景子，久武　信太郎，松井　信，八井　崇，沖原　伸一朗

記録　総務係

議事

⓪出席者自己紹介

1. 会場（下見）

現地及びHPで会場の下見をした．

会場は十分な広さがあり，設備の貸与も受けることができることを確認した．

またネットワークに関しては主催者用のwifi及び有線での接続が可能であることを確認した．

②会場の設定

ウインクあいち11階，12階を貸切る．

既に予約済みで，会場の割り振り案を確認した．

12階に休憩室を設定する．

③大会当日スケジュール

ポスターセッションの開催時間については，今後議論することとなった． これまでは，２日目，３日目の昼休みに開催している．

④開催方式

現地参加人数を確保することが交流や展示会の観点からも望ましいため，国内の参加者は対面とする．

一方シンポジウムや招待講演において海外在住の研究者に講演を依頼するという要請もあるため，海外からの招待講演者とシンポジウム講演者に限りオンラインでの参加を認める．

その場合特定の少数の会場のみハイブリッド開催設備を備えることとする．すべての会場にハイブリッドの設備を用意するわけではないため，一般参加者は海外在住の場合もオンライン参加はできないとする．

会場についても感染症対策を十分にとることとする．愛知県とウインクあいちの取り決めにおいては大声を出さない場合会場の定員の100％が入室することを許可する．指針およびウインクあいちの換気能力などについては，会場係主査小野先生に確認いただく．一方こういった指針を遵守した際に，満室の会場にて入室制限をする人員（アルバイト）を配置するかなどの運用については今後取り決めの必要がある．ポスターセッションの感染症対策も検討する。

レーザー研究およびＨＰに掲載する大会概要では，「入場制限する可能性がある」ことを記載することとなった．

⑤懇親会の会場および日時

1月19日(木)に開催とする．会場は未定．

懇親会においても感染症対策を取る必要がある．

最近の他学会の動向より，立食形式を取りやめて着席の状態にする，アクリル板を設置するなどの意見が出た．

⑥組織，役割分担の確認

資料を確認し，組織の役割分担を確認した．

⑦準備のスケジュール

シンポジウム講演者の打診期限は6/30となった．

⑧予算案

予算案を確認した．詳細は今後，会計係が中心となり，精査していく．また，過去の参加人数を参照し，目標数（約700名以上）を確認した．

⑨参加費，懇親会費の確認

参加費懇親会費は例年から変更ないことを確認した．

⑩大会賛助・広告・ポスター等

賛助を集めるためには年次大会のホームページが作成されている必要がある． 企業には「大会HP は6月公開予定」とアナウンスしているため，6月中にホームページを立ち上げる必要がある．

HPに関しては後述のconfitのシステム内にHP作成のサービスがあり，前年度大会のものをひな型とし，作成する．事務局はホームページの編集権の設定を至急でアトラスに依頼する．

またポスター及びチラシも出来るだけ早く動く必要がある．シンポジウム等の情報はプログラム委員会にて確定するため，その後作成を行う．使用する写真，デザイン等は広報係と実行委員会が連携して決定する．

⑪年次大会システム、HP

年次大会のシステムには，多数の学会での使用実績のあるconfitを使用する．

⑫論文発表賞，優秀ポスター発表賞

論文発表賞，優秀ポスター発表賞については例年通りに実施する．

⑬過去の大会の推移について

西澤委員長より報告書掲載HPの以下アドレスがメールにて配布され，運営の参考に．

http://web.lsj.or.jp/taikai/houkoku/index.html

以上